

下原委員（草莽の会）

平成30年3月12日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）広島叡智学園における教育の特徴及び授業内容について

広島叡智学園における教育の特徴はどういったものか、また、具体的な授業内容はどのようなものになるのか、併せて教育長に伺う。

（答）

広島叡智学園では、生徒が自ら考え、主体的に学び続けることができるよう、探究的で、かつ、実社会とのつながりを意識した学びを実践してまいりたいと考えております。

具体的な授業の内容につきましては、現在、検討段階ではございますが、特徴的なプログラムとして、国際協働型プロジェクト学習を行うことにしております。

そこでは、紛争・貧困・環境・エネルギーといった現実の諸問題に対しまして、自分たちで課題を設定をし、国籍を超えた仲間たちと力を合わせて、その解決にチャレンジするという活動を行うことなどを計画しております。

こうしたプログラムを中心に、生徒が自ら考え、主体的に学び続ける力を育成する取組を行うことによりまして、社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても活躍できるリーダーを育成してまいりたいと考えております。